

教科横断型授業「英語」×「家庭」×「公民」

学習指導案

主題（教材）	SDG s について			
目標	多角的な観点から資料を活用してSDG sを理解させ、17の項目のうち、着目されにくい項目に絞って、未来のために自分たちにできることを考えさせる。			
指導過程	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等
	導入 本時の目標を理解する。	3	○1つの用語に関して教科をまたいだ多角的な観点からアプローチする意義を理解させる。	○タブレット ○モニター ○ワークシート
	1 SDG sについて説明する。	10	○【公民】 既習の内容を相互に説明させることで、知識を定着させる。	○タブレット ○モニター ○ワークシート
	2 17の項目について考える。 ・最も大事なものは何か。	30 (10)	○17の項目について事前に調べさせておき、自分の考えをもとに項目を1つ選ばせる。 ○班内で1つに絞った項目とその理由を互いに発表させ、様々な観点からの意見に触れさせる。 ○17の項目はすべてつながっており、どれも大切であることを理解させる。	○タブレット ○モニター ○ワークシート
	・項目17について考える。 （着目されにくい項目①） ・項目12について考える。 （着目されにくい項目②）	(10) (10)	○【英語】 項目中の「Partnerships」とは何を指すのか、英単語の語句の意味をもとに考えさせる。 ○外務省や民間の取組から現状を理解させる。 ○【家庭科】 チェックシートを用いて、環境に配慮したライフスタイルと自らの生活の中の課題に気付かせるとともに、自分にできることを考えさせる。	
整理 ○本時のまとめ ・確認テスト ・自己評価と感想	7 (3) (4)	○テストの答えである 「Leave no one behind」がSDG sの理念を表していることを共有させる。 ○ループリックにより本時を振り返らせ、整理・復習につなげさせる。	○ワークシート	
備考	1学年 普通科クラスで実施			